



結ぶ

徳島東部12市町村

mu
su
bu

歴史のヒント

古の小松島に触れる[小松島市]

定住自立圏取組情報

地域づくり活動団体等育成・支援事業
徳島市市民活力開発センター

市町村特集

新庁舎とともに迎える
町制施行60周年

伝統息づく町かみいたで
ニューフェイス活躍中!

石井町
上板町

ブランドのチカラ

生活グループみそ部[佐那河内村]
濱醤油醸造場株式会社[小松島市]
茂美良行さん[板野町]

クイズで商品ゲット

人を結ぶ



特定非営利活動法人
阿波勝浦井戸端塾 塾長(理事長)

稲井 稔さん



たくさんの人の支えと人形への思いを込めて

Q お生まれは?

勝浦町の沼江で生まれ、今は同町の横瀬地区に住んでいます。幼少の頃は周辺地域が全て遊び場でした。縁あって高校教員として約40年務めました。阿南高専勤務の時代に高校野球の監督を66歳までさせていただきました。ありがたい事に高野連から育成功労賞まで頂戴しました。今も、マスターズ甲子園の監督をさせていただき、教え子たちもちょくちょく勝浦に来てくれます。今年も7月末に開催されるので、楽しみにしています。

4年間勝浦町の教育長までさせていただき、その後、阿波勝浦井戸端塾の3代目塾長となり、今年で3年目です。

Q 元祖阿波勝浦ビッグひな祭りは27回目となりますが?

平成16年の第17回から現在の人形文化交流館で開催しています。北海道など全国各地から訪問くださり、外国人の方も100人ほど来ていただいています。お遍路時期なので、地元の製材所のご協力もいただき、無料の金剛杖を用意してお接待に努めています。期間中には約4万人の来場者があります。

来場者の方に少しでも喜んで頂けるように展示には工夫します。展示に寄せられる人形一つ一つに個性や、持ち主の思い入れがあり、私たちはその思いを表現する責任があります。

現在、井戸端塾のスタッフは35人(男性18、女性17)ですが、平均年齢は70歳を超えており、高所や狭い場所での作業もあり心配です。今後、後継者を増やす事が課題です。みんな、お人形さんに元気をもらっているの、自然と各々の役割分担ができています。



▲高い所で大変なんです



▲ポスター発送中



▲昨年のビッグひな祭り

第27回 阿波勝浦 元祖ビッグひな祭り 情報

- 開催期間/2月22日(日)～4月5日(日) 9:00～16:00 期間中は無休、多彩なイベント有
- 会場/人形文化交流館(勝浦郡勝浦町大字生名ノ瀬35-1)
- 料金/一般300円、小学生100円、団体(10名から)200円
- お問い合わせ/人形文化交流館 ☎0885-42-4334 勝浦町産業交流課 ☎0885-42-1505

Q 2016年のリオ五輪でビッグひな祭りが開催されるそうですが?

お正月の新聞の1面トップ記事に「ビッグひな祭り リオ五輪で開催」と大きく紙面を飾った時には驚きました。勝浦町のビッグひな祭りに刺激され、今では、千葉・愛知・和歌山などでも同様のイベントが開催されています。リオ五輪での開催については、町出身で日本スポーツ芸術協会の相原事務局長さんが発起されました。これも何かの縁です。ブラジルには徳島はもちろん日本全国から移住した人が多く、ぜひ実現したいです。

Q 生まれ変わったらどこに住みたいですか?

山あり、川ありで気候も良いし、人情厚い人が多いこの町に住みたい。私も共働きの時、子どもたちが小さい時は、よく近所の方に預かってもらい、育てていただきました。赤の他人でもとても良くしていただいて、こんなところは他にないじよ。

町内関連行事

2/22(日)～3/22(日) おひな様の奥座敷
2/22(日)～3/22(日) 坂本おひな街道
3/25(水)～4/13(月) 勝浦さくら祭り

次号予告

平成27年9月発行予定

- 市町村特集 徳島市・神山町
- 定住自立圏取組情報
- ブランドのチカラ
- プレゼントが当たるクイズもあります。

冊子の設置場所

12市町村役場/徳島市立図書館/小松島みなと交流センターkocolo/道の駅「ひなの里かつうら」/いっきゅう茶屋/佐那の里/JR石井駅/神山温泉/松茂町歴史民族資料館/北島町立図書館/創世ホール/藍住町立図書館/あせび温泉/技の館 ほか

「徳島東部地域定住自立圏」とは? 「結ぶ」って?

徳島市を中心として近隣の11市町村と連携して「徳島東部地域定住自立圏」を形成し、12市町村が役割分担しながら連携、協力することで圏域全体の発展に向けたさまざまな取り組みを展開しています。本誌は徳島東部12市町村の住民の皆さんが「徳島東部地域定住自立圏」の魅力を知り、取り組みに参加することにより、市町村の枠組みを越えて、お互いが交流し結びつきを深める「=結ぶ」ことを目的として発行しています。

【参加市町村】

徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町



徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの連携事業

地域づくり 活動団体等の 育成と支援事業



インタビュー



指定管理者：特定非営利活動法人新町川を守る会

理事長 **中村 英雄** さん

徳島東部地域定住自立圏が形成され、NPO法人の幅広い連携ができるようになったことはスタートラインに立ったばかりですが大きな成果だと思います。12市町村の行政的な繋がりも大切ですが、行政では小回りの効きにくいところを私たちが担っていくことが今まで以上に重要になってきます。

現在208団体が徳島市市民活力開発センターに登録しており、様々な分野の方々が訪れます。最近若いスタッフや若い人が地域づくりに協力していただいで心強いからです。私が会長をしている新町川を守る会が行っている毎月1日と第3土曜の川掃除にも毎回若い人の参加があり助かっています。それと同時に市民活動の浸透が進んでいるのを感じています。



▲中村さん(中央)とスタッフの皆さん

徳島市市民活力開発センター

所在地：徳島市幸町3丁目71番地の1(幸町会館1階)
開館時間：火曜日～土曜日 10:00～21:00
日曜および祝日 10:00～18:00
休館日：原則・月曜日(祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日
電話：088-611-3886
指定管理 特定非営利活動法人 新町川を守る会

徳島市市民活力開発センター

NPO法人を初めとする市民活動団体の育成、支援をするため、平成16年1月に設置されました。徳島東部地域定住自立圏形成協定の締結により、平成24年1月より圏域市町村で活動しているNPO法人やボランティアグループも利用できるようになりました。活動の内容は地域づくり活動に関するセミナーや講座などを開催し、地域住民をけん引できる人材の養成を目的にしています。また、圏域内外に情報を発信して他のNPO団体や個人とネットワークの構築をはかり、行政や企業との協働を推進しています。

三つのキーワード

まず、「つくる」は市民活動に関心のある市民や大学生の皆さんを対象に気軽に市民活動に参加できる、きっかけづくりを行っています。ボランティア体験講座や訪問ボランティア養成講座などの催しを通じて、「何かしてみたい」という市民の後押しをしています。

「つなぐ」は、地域と団体、世代間のつなぎ、行政と市民活動のつなぎ、また情報と団体をつなぐ役割を担い仲間を見つたり、活動がスムーズにいくようマッチングしています。

「ささえる」は、登録団体の皆さんに利用していただく会議室やプロジェクターやスクリーンなどの機材を貸出し、活動に必要なサポートを行っています。

お気軽にお訪ねください。



郷土資料展示室展示中「源平盛衰記・阿波国勝浦合戦」

源義経の上陸伝説や金長狸などの民話が数多く残る小松島市では、昨今の発掘調査などから、古の歴史がひもとかれ始めています。

新居見遺跡からは、小松島市で初めて縄文時代の遺跡が確認され、そこから県下で初となる土偶の二部が出土しました。

田浦遺跡では流路跡に廃棄された埴輪片が出土しました。この中には家形埴輪や大型の円筒埴輪も含まれこの周辺に県下でも有数の規模を誇る古墳(五世紀後半)が築造されていた可能性がある」と注目されています。

深い江戸時代の僧閑々子の書画などの歴史資料を展示しています。

また今年度からは、小松島市が所蔵している「歌川国芳の錦絵『源平盛衰記・阿波国勝浦合戦』」も公開しています。

新居見遺跡・田浦遺跡の出土遺物は現在、整理作業中の

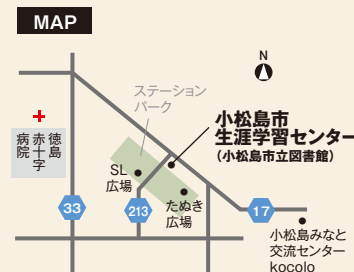


小松島市生涯学習センター

- 1F 小松島市立図書館
 - 2F 郷土資料展示室
 - 3F 教育委員会生涯学習課
- 小松島市小松島町字新港29-11

教育委員会生涯学習課
TEL0885-32-2700
小松島市立図書館
TEL0885-32-1100

■見学
開館時間 10:00～18:00
月曜日・月末等休館



図書館では、蔵書の閲覧貸出の他に、読み聞かせ(乳幼児対象)、幼児・小学校低学年対象)やシニア向けの折り紙教室なども行っていますので、歴史に興味のある方もない方も気軽に立ち寄っていただければ、新たな発見があるかもしれません。



「長国の埋蔵文化財 古墳時代in小松島」昨年9月に実施した講演会の模様

歴史のヒント

小松島市

Hint of history

いにしえ 古の小松島に 触れる

ため展示していませんが、作業終了後に順次、展示していきます。

不定期ながら、企画展・講演会など、歴史を感じることもできる催しも行っています。



「子持勾玉」前山遺跡出土 「内行花文鏡」前山古墳出土



発掘体験 土偶 腕(縄文時代) 新居見遺跡



円筒埴輪(古墳時代) 田浦遺跡 肥溜(江戸時代)



全国22の自治体
が参加する自治体
運営型通販サイト
「自治体特選ストア
上板」に出品し
た「藍染キャンパス
トートバッグ」が大
手飲料メーカーの
懸賞品に選ばれる

自治体特選ストア 上板

阿波藍染商品、和三盆糖、阿波の金時豚、あわ和三盆あひす、ドライフルーツ「かきじいのほっぺ」など販売しています。

<http://store.shopping.yahoo.co.jp/gts-kamiita/>



上板町では彼らに続く藍の栽培を中心活動する地域おこし協力隊を募集し、町の伝統産業である藍の技術を継承する次世代の育成に力を入れています。

また活動のフィールドは日本にとどまらず、昨年ニューヨークでのワークショップを2度開催し、今年はニューヨークに工房を設けるなど、「ジャパンブルー」を世界に発信する舞台を整えています。

町制施行60周年は観光元年

上板町は、今年を観光元年と位置づけ様々な事業計画を立てています。そんな上板町に昨年、観光イメージキャラクター「かきじい」が誕生しました。全国公募で集まった135作品のうち、最終候補として残った10作品の中から、町民による総選挙の投票で決定したのが「かきじい」です。着ぐるみも登場し、幅広い世代から愛されている人気者です。

平成24年7月より上板町にやってきました、渡邊健太さんと椿覚郎さんは、地域おこし協力隊として藍染めの文化伝承とPRを目的に活動されてきました。

今年3月に地域おこし協力隊を退任し「株式会社BUAISOU・（ぶあいそう）」を設立する彼らを選んだのは、藍の栽培からすくも作り、染色、縫製までを一貫して手がけるのに最適な藍染の基礎を学んだ上板町での定住でした。「藍染めの魅力を日本はもちろん世界に広めることで、町へ恩返しをしたい」と上板町をホームタウンに世界を見据えています。

伝統息づく町かみいたで ニューフェイス活躍中！

藍の力は世界へ

など、彼らの若い感性とものづくりの姿勢が評価されつつあります。

また活動のフィールドは日本にとどまらず、昨年ニューヨークでのワークショップを2度開催し、今年はニューヨークに工房を設けるなど、「ジャパンブルー」を世界に発信する舞台を整えています。

上板町では彼らに続く藍の栽培を中心活動する地域おこし協力隊を募集し、町の伝統産業である藍の技術を継承する次世代の育成に力を入れています。



吉野川によって運ばれた肥沃な土地が広がる石井町は、県内有数の野菜の生産地であるとともに、隣接する徳島市のベッドタウンとして発展しています。

昭和30年3月、1町4村の合併により石井町は誕生し、平成27年は町制施行60周年を迎える記念すべき年です。町制施行60周年を前にして、平成26年12月に石井町新庁舎が落成しました。新庁舎は、ユニバーサルデザインを推進し、また、防災拠点としての機能を有するとともに、太陽光発電設備等の導入により自然エネルギーの活用や省エネが図られ、経済性や環境にも配慮した「太陽と緑の環境都市らしい」にふさわしい庁舎となっています。

平成23年に誕生した石井町イメージキャラクターふじっこちゃんも藤がモチーフになっています。ゆるキャラグランプリにエントリーしたり（2012は36位、2013は54位）、全国CMに2度出演するなど石井町のPRを積極的に行っていきます。



石井町の冬を約10万個のLEDで彩る「ほなけん石井イルミネーション」。OK!しいパーク（飯尾川公園）で開催するこのイベントの中心となっているのが、石井町商工会青年部の皆さんです。地域経済を担う人材として、また地域企業の若手後継者として活躍しながらも、イベント開催を通じて人の交流を図り石井町の良さを町内外にアピールしています。

冬のイルミネーション

藤香るまち

春の石井町といえば、桜と藤が有名です。3月下旬～4月上旬にかけて桜まつり、4月下旬～5月上旬にかけて藤まつりが開催され、町内外から多くの人が訪れています。

藤は、町の花に指定され、町民に愛され親しまれていて、石井町のシンボルといえる存在です。樹齢200年余りの紫藤の藤棚がある「地福寺」をはじめ、「童学寺」、「徳蔵寺」と藤の名所の3寺を巡る観光コースがおすすめです。

新庁舎とともに迎える 町制施行60周年

クイズに答えて 「ブランドのちから」商品をゲット

正解者の中から抽選で11名様に、プレゼントが当たります。

問題 石井町のイメージキャラクターは

Q ○○っちゃんです。

※ヒントは3ページにあります。

応募方法

官製はがきに、①クイズの答え、②プレゼントの希望の商品名、③郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、④本誌「結ぶ」に対する感想や要望を、ご記入の上〒770-8571 徳島市幸町2-5 徳島市企画政策課内「結ぶ」プレゼント係 へ平成27年4月17日(金) (必着)までにお送りください。

(お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します)

【当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます】

編集雑記 Vol.6

ペンネーム Y・H(徳島市)

この「結ぶ」も早いもので6号の発行を迎えました。創刊当時は、まだ手さぐりの状態でしたが、回数を重ねるうちに誌面も充実してきた感じがしています。

「市町村特集」では、毎号2つの市町村が登場していますが、この号で園地の全てを紹介することができました。そこにお住まいの方からお聞きする「わがまちの自慢」は編集担当者として楽しいひとときです。また、読者の方からいただく、「住んでいても気づかなかったまちの魅力を再発見できました」などという声もとても励みになります。

12市町村の魅力は、まだまだ誌面で紹介しきれません!これからも「定住自立圏」の取り組みや園地地域の魅力をたっぷりとお伝えしていければと思っています。

4年目の「結ぶ」にご期待ください!

ペンネーム ルースト(神山市)

色々すごい

すだちやサテライトオフィスで有名な神山市ですが、梅もすごいんです。今まさに神山市阿川地域にある県下最大規模を誇る梅の里が、ピンクや白に色づき春の装いになっています。30ヘクタールの範囲に何と1万6千本もの梅の木があり、まるで梅の大海ですね。この大海原を泳ぐように歩いていると、あつという間に甘い香りに包まれてしまいます。3月にはみんなで楽しくおしゃべりしながら梅を鑑賞できる健康ウォークもあり、ぜひ行きたいですね。しかし!すごいのは梅だけじゃないんです。この阿川地域にある、緑豊かな広石溪谷で採取された青石は、フランスのバリにある国連のユネスコ本部の庭園の庭石に用いられているんです。不思議な縁がありますね。

表紙の写真



ほなけん石井イルミネーションにて

石井町商工会青年部のみなさんが中心となって、地域振興事業の一つとして、約10万個のイルミネーションを創作設置しました。OKいしいパーク・四銀いしいドーム周辺で幻想的な煌めくウインターイルミネーションが来場者の方を楽しませていました。12月15日のオープニングイベントでは、スタンブラリーやご当地グルメ「なんば焼き」の振る舞いに舌鼓をうちました。商工会青年部は現在30人、一人ひとりが協力して、大きな力となっています。

Power of BRAND



▲奥さんの美代子さん(左)とお嫁さんの晃代さん(右)



◀プレゼントの
にんじん5kg入り箱

茂美良行さん

【板野町】

誰もが認めるブランド人参に

吉野川中流域北岸の板野町では肥沃な土地と温暖な気候を生かし、昭和43年ごろから本格的な人参栽培が行われるようになりました。板野町大寺の茂美良行さん方では、栽培面積13haの畑で早生人参の愛宕と中晩生の愛紅の洋人参を栽培しています。種まき期の10月から12月と収穫期の3月から5月は家族総出で収穫と出荷作業に追われる毎日です。出荷はすべてJA板野郡を通して京阪

神、名古屋、関東方面に流通しています。大型トンネルで雨に当たらず乾燥状態で生育させ、丹念に手入れした人参は鮮やかなオレンジ色で、しっとり滑らかで瑞々しい食感と甘さは消費者から高い評価を得ています。板野町の人参栽培は高齢化に伴う産地維持に多少の課題はあるものの、高い生産性と培ってきたブランド力、それに加工品の開発などで活路を開いていくことでしょ。

Hot News

4月より販売予定
人参のハンドクリーム
いたの・キャロリーヌ

人参を使った新商品を開発、販売します。
板野町まちづくり女性の会



茂美良行さん

●板野郡板野町吹田字町南22-2(板野町役場)
●TEL088-672-5994(板野町産業課)

茂美さんのにんじん
5kg入り
(2名様)



生活グループみそ部

【佐那河内村】

「味」も「作り手」も まろやかじよ

さなごうち手づくり味噌は1年間じっくり寝かせて、熟成された深みのあるまろやかなお味噌です。生活グループみそ部6人の皆さんが、佐那河内米の米麴造りから丹精込めて作っています。平成9年から作り始めましたが、最初は米麴の出来具合にバラつきがあったり、塩分量や種味噌を造る工程や保管の問題が発生したりと苦労しました。しかし、今はリピーターの方も多く、皆さん

に喜んでいただいています。米麴は佐那河内米、大豆は地元産や北海道産を使用しています。年間約750kgを造っていますが、個人宅からまとめて10kg単位での注文もいただいています。佐那河内の自然豊かなところだから、一味違うんです。販売場所の一つ「しゃくなげ市」は四季をととして村の旬の野菜や加工品を販売しています。人気の品はすぐに売り切れるので、お買い物は早朝がおすすです。



販売場所

JA徳島市佐那河内支所ふる里物産直売所

(日曜日～金曜日9:00～17:00土曜定休)

しゃくなげ市(毎月第二第四日曜日7:00～10:00)売切れごめん

あじさい市(4月下旬～10月上旬9:30～16:00月曜定休)

●問い合わせ／佐那河内村産業環境課 TEL088-679-2115

Power of BRAND

ブランドのチカラ



▲約20本の杉樽が並ぶ醤油蔵。

◀濃口醤油の「秘蔵しょう油」(左)と干しエビ、
鰹節などをブレンドした「だし醤油」

濱醤油醸造場株式会社

【小松島市】

120年の杉樽で育てるこだわり醤油

味噌や醤油といった調味料はそれぞれの家庭の味があり、長年にわたって親から子へ子から孫へと味が受け継がれ、親しまれてきました。濱醤油醸造場は明治30年の創業で四国霊場19番札所、立江寺の隣で醤油や味噌などを作り続けてきました。現在4代目の濱眞博さん眞理子さん夫妻を中心に精魂込めて醤油や味噌を作っています。今では珍しい杉樽でじっくり時間と手間をかけて熟成させ、風味豊かな醤油

に仕上げています。大量生産したものとは一味違う手作りの旨味が感じられるものです。原料にもこだわり国産の無農薬大豆、徳島の米、天然の塩など素材を吟味して安全、安心な商品を提供できるよう品質管理に努めています。時には自ら産地に出かけ、畑の様子を確認することもあるそうです。濱醤油さんの商品は店売りのほか、インターネットやとくしまマルシェで購入することができます。



▲しょう油を持つ濱眞理子さん

▲徳島在住の書家、野口有香さん揮毫の店の看板(右)

濱醤油醸造場株式会社

●小松島市立江町若松34番地

●TEL0885-37-1128

●FAX0885-37-2818

●http://www.oshouyu.com

PRESENT
だし醤油または
秘蔵しょう油(こいくち)
900ml 1本
(4名様)

※商品はお店で決めさせていただきます。